



南風

学校だより

令和3年10月21日

上越市立南本町小学校

No. 489

<http://www.s-honcho.jorne.ed.jp/>



苦しくても力を出し切る経験を

10月5日（火）に、青空の下で南っ子さわやかマラソンが行われました。この大会に向けて、子どもたちは自分の目標を決め、体育の時間をはじめ、20分休みなどに練習を積み重ねてきました。

本番では、友達や教師、そして、保護者の皆様の応援を受け、自分の新記録に挑戦する姿が見られ、応援する方も力が入りました。感染症の影響で、保護者の皆様が学校での子どもたちの様子を見る機会が少ない中、子どもたちの力を出し切る姿を見ていただくことができ、嬉しく思いました。感染症対策に配慮しながらの応援、ありがとうございました。



低学年男子のスタート

長い距離を走ることは、苦しいことです。できれば、避けて通りたいと思う活動の一つです。しかし、苦しくても自分の目標に向けて力を出し切り、目標を達成した場合は、大きな自信につながります。そして、次の活動の新たなエネルギーとなります。苦しい経験が、真の「楽しさ」を味わう原動力になるのではないかと考えています。



高学年女子のスタート

一方で、こんな場面がありました。中学年男子のスタート直後、友達と接触して転んだ子どもがいました。しばらく痛みをこらえていましたが、走り出しました。そして、最後まで走り切りました。

アクシデントにより、自分が目標としていた順位やタイムに届かなかったことと思います。さぞ悔しかったことでしょう。しかし、最後まで走り切ると決めた強い気持ち、そして、最後まで走り切ったという経験が、その子をさらに成長させると信じています。

学校評価の概要

保護者アンケートの自由記述欄に、ご意見・ご要望等をお寄せいただきました。ありがとうございました。一部を紹介します。また、学校の考えについてお知らせします。

元気が出るメッセージです。引き続き、取り組んでいきます。



- ・1年生時から学期末テストで90点を取るまでは再テストをするなど、きちんと身に付くよう勉強に力を入れていてよいと思う。
- ・通級など、一人一人に応じた内容で指導してもらい、できるようになって自信につながり個性も大事にもらって、効果的な教育だと思う。
- ・参観の時、一人一人の気持ちを認めてもらえていると感じた。学校が好きなのは先生方のおかげである。
- ・話を親身になって聞いていただいたり、欠席した時に荷物を届けていただいたり信頼できる担任の先生で大変うれしい。
- ・学校の先生方がいつも笑顔で温かい雰囲気を感じる。
- ・トラブルやけが等についてこまめに連絡をくださったり、成長過程を説明してくださったりと、感謝している。
- ・細やかに丁寧に見ていただいている。宿題の量が多くもなく少なくもなくちょうどよい。
- ・毎日学校での様子を楽しそうに家で話してくれる。
- ・修学旅行を実施していただいて感謝している。規模を縮小したとしても行事が実施されることで楽しい学校生活が送れると思う。
- ・安心安全な給食の提供に栄養教諭、先生方に感謝している。上越市全域でのマニュアル定着にも尽力いただけたら幸いだ。
- ・長所短所を見極めたいうえでの対応をしてもらっており、安心して子どもを送り出すことができる。

今後も、保護者の皆様との信頼関係を深め、子どもたちの成長のために取り組んでいきます。

気になるなあ、不安だなあ・・・



- ・自分の子どもも含め、朝のあいさつが気持ちよくできない。登校班の子ども同士、保護者や地域の方に対するあいさつもできていない。生きていく上で大切なことなので、しっかりと学んでもらいたい。

⇒ 気持ちのよいあいさつをすることは、人とのコミュニケーションを図るために必要です。今年度は、「進んであいさつをしよう」を1年間のめあてにしています。引き続き指導していきます。家庭や地域でも、子どもたちのへ声掛けをお願いします。

- ・配付物が多い。保管も大変だが紙の無駄も感じる。メールをうまく活用することはできないか。

⇒ 多くの場合は紙媒体で、急を要する場合等はPTAメールで情報を発信しています。今後、環境整備が進んだ場合、たより等の情報を子どもが持ち帰る端末で確認していただく等の方法を検討していきます。



- ・学校は、家庭・地域との連携が大事だが先生方に話し掛けられる雰囲気や状況がなく、家庭訪問もなく、長子が入学の家庭は不安な4・5月を過ごした。
- ・コロナ禍でも少しでも多くの学校活動を望む。
- ・コロナ、年金財政破綻など厳しい時代ですが、たくさんの体験をして、また、無得ない子どもたちの素質を引き出していただいで、学びたい欲に火をつけ続ける現場であってほしい。

⇒ ご指摘のとおり、4・5月は不安なスタートだったと推察します。感染症から子どもの命を守る、職員の命を守ることを優先しているため、例年どおりの教育活動を実施することができないのが現状です。引き続き、今後の状況変化による国や県、市の方針により対応していくとともに、子どもの「学ぶ意欲」を大切にしていきます。ご心配なことがありましたら、ぜひ学校においていただき、お子さんの様子をご覧ください。



- ・学年便りで、学習進度を示してほしい。(家庭学習のため)
- ・英語が教科として入ってきて、先生方も親も大変になると思う。
- ・通知表の2学期の所見がないのが残念。面談だけでなく、記録として残ると子どもの励みにもなると思う。通知表(内容)は学校に任されていると聞いたので、検討してほしい。

⇒ ご意見、ありがとうございます。教員の多忙化、それに伴う心身の不調による休職等の増加等については、報道でご存じのことかと思えます。また、新学習指導要領の実施に伴う高学年の教科「外国語」のスタートや、GIGAスクール構想による一人1台の端末活用等、学校に求められることも多岐にわたっています。

過労死ラインとされる「月80時間以上」の時間外勤務が常態化している職員がいる現状から、校務の改善に取り組んでいるところです。通知表の2学期の所見をなくしたことも、校務改善の一つです。2学期の所見をなくした分、丁寧にお子さんの様子を保護者にお伝えするように努めています。



学校の働き方改革は、これまでの職員の働き方を見直し、毎日元気に子どもたちの前に立って未来につながる力を育む教育を行うために必要なものと考えています。ご理解とご協力をお願いします。

このマーク、ご存じですか？



このマークは、「上越市教育の日」シンボルマークです。市民が日頃から教育について考え、積極的に参加するためのシンボルとして、11月1日を「上越市教育の日」とするとともに、教育の日の趣旨にふさわしい活動を重点的に実施する期間として、11月を「上越市教育を考える市民の月間」として位置付けられています。市民に広く周知・啓発し、教育に対する市民の関心を高め、理解を深めることが目的です。

11月20日（土）高田城址公園オーレンブラザをメイン会場に、「上越市教育コラボ 2021 学び愛フェスタ」が開催されます。

主な予定

- 1日（月）あいさつウィーク（担当：1年生）
- 2日（火）全校学びタイム
ポプラタイム（11・12月の生活目標、メッセージ交換）
- 3日（水）文化の日
- 4日（木）カウンセラー来校
- 9日（火）全校学びタイム いじめ見逃しゼロスクール集会
- 10日（水）ALT来校
就学時健康診断 4限まで短縮授業 給食後12:40下校
- 11日（木）カウンセラー来校
- 12日（金）教育相談 6限委員会活動
- 15日（月）教育相談
- 16日（火）全校学びタイム
- 17日（水）ALT来校
- 18日（木）カウンセラー来校
- 22日（月）家庭学習強調週間（～28日）
- 23日（火）勤労感謝の日
- 24日（水）ALT来校 6年生城西中学校説明会
- 25日（木）特設ポプラタイム（職員による読み聞かせ）
- 26日（金）創立130周年記念式典・記念コンサート
給食後13:30下校
- 29日（月）全校漢字テスト あいさつウィーク（担当：3年生）
- 30日（火）全校算数テスト 全校学びタイム
個別懇談1日目 給食後13:20下校



※ 年度当初には、11月5日（金）に上越市学校教育研究会の一斉研修が予定されていましたが、しかし、感染拡大防止のため中止となりました。よって、平常通りの授業となります。